

デジタル変革がもたらす新時代の情報通信セミナー

総務省北陸総合通信局（局長 三田 一博）は、令和3年6月23日（水）、北陸情報通信協議会との共催により、「デジタル変革がもたらす新時代の情報通信セミナー」をZoomによるオンライン配信で開催し、延べ93名が参加しました。

第1部の基調講演では「5G等の最新動向と総務省の取組について」と題し、総務省新世代移動通信システム推進室の田中健巧課長補佐から5G・ローカル5Gの特徴や研究開発等の導入に向けた取組、そして5Gが実現する未来のイメージとして、日常にもたらす変化を動画で紹介しました。さらにはBeyond 5G/6Gの推進戦略など、最新動向について説明しました。

第2部は「『新しい社会と地域』のためのデジタルワイヤレス」をテーマとして、初めに、大阪大学大学院工学研究科電気電子情報通信工学専攻 教授 三瓶 政一氏から「5G技術によるポストコロナ社会についての近未来展望」と題して講演しました。ローカル5Gの産業分野や地方への適用は、withコロナ社会の実現に向けた対応としても重要であり、5G以降、6Gプラットフォームがベースとなり、異なるシステム間での協調に基づく生産性向上と社会課題解決を両立する社会の実現やSDGsの実現に向かっていく今後の進展について説明しました。

続いて、国立研究開発法人情報通信研究機構Beyond5G研究開発推進ユニット長 寶迫 巖氏から「ポストコロナ時代を革新するBeyond5Gシステム研究開発の方向性」と題して、ICTの重要性や限界への気づきを得たポストコロナ時代において、サイバーフィジカルシステムの実現など、Beyond5G/6Gが社会基盤として位置づけられる未来社会の実現に向けたビジョンと技術開発について講演しました。

このセミナーでは、ポストコロナを見据えた近未来に向けて5GやBeyond5Gが生み出す新たな情報プラットフォームの構築による、充実したサービスの醸成に向けた取組の必要性を知る機会となりました。



大阪大学大学院
工学研究科
電気電子情報通信工学専攻
教授
三瓶 政一 氏



国立研究開発法人
情報通信研究機構
Beyond5G研究開発推進ユニット
ユニット長
寶迫 巖 氏

お問い合わせ先
無線通信部電波利用企画課
076-233-4470